

多くの子どもたちが集うこの学園で・・・
(1学期ふりかえり)

校長 桑野 啓子

昨年度の7月の学園だよりから。『新しい生活様式がずっと続いています。・・・あらゆることを「自分ごと」として想像力を働かせると、相手にどんな言葉かけをしたらよいのか、どう行動すればよいのかが見えてくるのではないかと思います。ひとりではないから我慢も続けることができるように思いますし、互いに励ましあえるからこそ元気がわくと思います。応援の声は、相手に届かないこともあります。背後からふいに聞こえた声に自分は励まされるように思います。すると今度は自分がだれかを応援したい気持ちになるのではないのでしょうか。』

状況は随分落ち着いてきましたが、どのような状況にあっても、励まし励まされる、かけがえのない「つながり」の大切さは変わらぬものと改めて実感しています。いま、教職員がお手本となって、登下校時や体育時、部活動時には、熱中症予防を優先してマスクを外そうと子どもたちに促しています。各ご家庭でも、お声かけをしてくださっていると思います。学園でも、水分補給の促しも継続して参ります。

昨年度は予定変更が多々ありましたが、今年度は先月9年生が二泊三日の長崎修学旅行にてかけました。平和の学びを深め、学年、グループのつながりを深める良い機会となりました。このところ、戦争や平和について考える機会となるニュースがあります。9年生の長崎での学びについては、7月平和集会で学園全体に発信する予定です。またそのタイミングで、複数学年が平和学習を行う予定です。6月最終週からはいよいよ3年ぶりに水泳指導も始まりました。「ぶちサポ」さん「学校ボランティア」さんにもお世話になっています。様々な個性、もちあじをもった多くの子どもたちが集うこの学園で、互いの距離感も学んでいます。思いを言葉にして伝える大切さも学んでいます。6月にはゲストティーチャーのお力をかりて、「人間関係づくり」授業を行いました。4月5月は新しい環境の変化に心が落ち着かない様子を見せた子どもたちもいましたが、少しずつなじみあっている様子が見られます。今後もあせらず、あわてずにじっくりと日々の取組を大事に進めています。

昨年度末に、学園委員会の再編を行いました。すべての子どもたちに活躍の場を設定したいという思いで、大人数だった委員会の再編を進めました。それぞれの委員会で意見をだしあって、活動している様子を学園ブログでも可能な範囲で紹介しています。委員会所属でない子どもたちも学年や学級の中で活動しています。ひとりではできないことも、みんなで力をあわせる取組や、役割分担の中で、「がんばったこと」「トライしたこと」を互いに認め合っていきたいです。1学期の締めくくりの7月です。それぞれの子どもたちが、その人なりのペースで、トライを継続していくことを応援しています。各ご家庭におかれましても、学園の取組にあたたかい思いを寄せてくださるご理解とご協力を賜りまして、大変ありがたく思っています。みなさんの励ましに力を頂戴いたしました1学期も2週間ほどとなりました。最後まで、引き続きどうぞよろしく願いいたします。